

「阿賀野川え〜とこだプロジェクト」をご存知ですか？

正式名称は「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称「FM事業」)

新潟水俣病と向き合い、乗り越える流域づくりを目指して

阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクト。一般的にFM事業は、「新潟水俣病のもやい直し」事業と言われることが多い。



これまでの経緯



県知事の宣言がFM事業開始のきっかけ

- 平成 17 年 6 月、新潟水俣病 40 周年を契機に、新潟県知事が「ふるさとの環境づくり宣言」を公表。地域社会の再生・融和を図りながら、新潟水俣病の教訓を伝えていき、今後ふるさとの自然を二度と汚さない方針が宣言されました。
- この方針に基づき、「もやい直し」の中核事業として、平成 19 年からFM事業がスタートしました。

★「もやい直し」とは？

- 水俣病が発生し、住民の絆が損なわれ、地域経済も疲弊した水俣市が、平成2年から取り組み始めた「地域再生」の試み。
- 現在では日本有数の環境先進地として甦り、マイナスイメージをプラスに転換することに成功。

FM事業の取組紹介

流域の歴史を光と影の視点から時代の流れの中で捉え直す。
人々の記憶に残る新潟水俣病を様々な角度から捉え直す。

環境学習

- 基本理念を策定
- 新潟水俣病の教訓を未来に活かせる環境学習プログラムづくり



イベント

パネル巡回展は年 1 回、講座は年数回、開催予定。



- パネル巡回展
地域の歴史の光と影をパネルにし、地域の施設を巡回展示



- 地域再発見講座
地域の歴史の光と影を住民に見つめ直してもらった講座。

情報発信

え〜とこだよりは年 3 回発行予定。



- 定期情報誌の発行
「阿賀野川え〜とこだより」



- ネット発信
ホームページやブログから発信

●パネル展示(2 作)



●紙芝居(2 作)



●映像作品(1 作)



●ロバダンとは？

- 流域各地で少人数の寄合いを数多く開催
- 様々な団体や地元の方々から、本音の意見やお話をうかがう。



収集した膨大な資料を整備→様々な作品を制作

ロバダン！(炉端談義)

地域が新潟水俣病に
向き合い…

新潟水俣病関連プログラム

地域が新潟水俣病を
乗り越える！

地域独自の環境取組

一般社団法人 あがのがわ環境学舎

- 平成 23 年 2 月、FM事業の関係者らが設立した団体。
- 「もやい直し」の継続と持続可能な地域づくりを目的に、流域を舞台とした環境学習の運営等の事業を行う。
- 平成 23 年度から、県内外の訪問客の受入れを開始。

流域の宝もんを堂々と誇ることができる「真の阿賀野川ブランド」の確立を目指して！